

東急リゾート&ステイ 勝山エリア 吉岡統括総支配人インタビュー



吉岡 厚志 支配人

東急リゾート&ステイ株式会社 勝山エリア統括総支配人

埼玉県出身。スキー好きが講じてリゾート業界に転職。ホテルタングラム（長野県）、タングラムスキーサーカス（同左）、ハンターマウンテン塩原（栃木県）、マウントジーンズ那須（同左）と歴任し、2022年4月より現職。

本日は福井県勝山市にあるスキージャム勝山をご訪問しました。このスキー場は福井県や勝山市も出資している第三セクターの勝山高原開発が所有しており、東急リゾート&ステイが運営を受託しています。東急リゾート&ステイ 勝山エリアの吉岡統括総支配人にお話をお伺いしました。

岩尾専務)

早速ですが、スキージャム勝山のご紹介をお願いします。

吉岡支配人)

スキージャム勝山は、スキー場とホテルや温泉などが併設された複合リゾート施設です。ゲレンデは滑走距離が最大5,800メートル、標高差が710メートルあり、西日本最大級のスキー場のひとつです。ベースから連なる山と奥の山へ大きく3つのエリアに分かれ、それを1,500メートル級の高速クワッドが繋ぐレイアウトとなっています。コース数は全部で15コース、初級30%・中級40%・上級30%とバランスがとれており、うちツリーランコースが3か所あります。近年人気のツリーランコースは管理区域内にあり、夏季の整備やシーズン中の巡回パトロールを行い、降雪など条件が整い、安全が担保できる状態でオープンしています。



岩尾専務)

来場者はいかがでしょうか。

吉岡支配人)

シーズンによって多寡はありますが、12月中旬から4月上旬の営業期間におおよそ20万人の来場者があります。約半数が福井を含めた北陸エリア、あとは主に関西、中京圏のお客様です。オールターゲットであり、ファミリー層やエントリー層、滑りごたえを求めるコア層と特徴ある3つのエリアによりターゲットが変わります。

岩尾専務)

競合するのはどのようなスキー場でしょうか

吉岡支配人)

ターゲットエリアである関西圏、中京圏から滋賀エリア、岐阜エリアが競合と言えます。それに対し私どもの売りは、初級者から上級者まで対応するバラエティに富んだコース。天然の良質な雪質。ベースエリアには広々としたスキーセンターがあり、レストランや温泉露天風呂、BURTONストアやGODIVAショコリキサー店など、リゾート感あふれる雰囲気の中で充実した一日を楽しんでいただけたところです。さらに、スキーイン・アウトが可能な併設のホテルに泊まれば、ワンランク上質なゆとりの時間を過ごすことができますでしょう。



岩尾専務)

今シーズンは各スキー場とも少雪で大変だったようです。ただ、地域によっては3月に大雪が降りましたので持ち直したとも聞いています。

吉岡支配人)

今期のこのエリア例年には見られない類い稀な少雪で、3月もあまり降雪に恵まれませんでしたので、2月下旬から一部ですがコースをクローズさせていただきました。また、1月には能登半島地震があり地域観光に大きなダメージを与えました。それらが影響しシーズンの来場者は20%程度減少となりました。しかし、それでもようやくコロナ禍を脱し、お客様の笑顔をたくさん見ることができましたし、ファミリー層も多くゲレンデに戻ってきました。来シーズンに向け大いに期待が持てると感じています。

岩尾専務)

インバウンドはいかがでしょうか。

吉岡支配人)

現在のところインバウンドは多くありません。アジア圏の個人旅行客が多少ありますが、全体の1%に満たない程です。ただし、昨今の社会情勢やこの3月に北陸新幹線が福井県に延伸したこともあり、これから増えてくると思います。県に新設されたインバウンド推進室や勝山市DMOと連携し、海外の旅行博出展や商談会へ積極的に取り組んでゆきたいと考えています。

岩尾専務)

オーストラリアなどはスキーを目的に長期滞在される方も多いですがアジアは違います。スキーが目的ではなく、日本観光ツアーの中に、雪を見る、雪に触れるという項目を含めるくらいですから、スキー場は必ずしもニセコや白馬のような有名なところである必要はありません。むしろ、英語や中国語でレンタルやスクールの受け入れ態勢ができているほうが海外の旅行代理店にとって望ましいでしょう。我々にとりましても、雪を見るだけでは一回限りですが、スキーやスノーボードを体験していただき興味を持っていただければリピーターになりますので、受け入れ態勢の整備が喫緊の課題ととらえ、観光庁に補助制度を作っていただきました。



吉岡支配人)

東急リゾート＆ステイはニセコや長野、首都圏はもとより大阪、京都など、すでにインバウンドが多く来場している地域でも事業展開をしています。その点でインバウンド受け入れのノウハウや、海外のエージェントとのパイプもあります。勝山はまだインバウンドが多くありませんが、誘致と並行して受け入れ態勢の整備を進めています。

岩尾専務)

気候変動の影響もあり少雪化が止まりません。営業日数も減少傾向にありますし、冬季のみの営業では人材確保も困難になってきています。そのため各地のスキー場では通年営業を目指しいろいろな取り組みが進められています。また、スキー場は過疎地の基幹産業であり地域との連携も欠かせません。いかがでしょうか。

吉岡支配人)

第3セクターであるスキージャム勝山は1993年のスキー場開業から現在まで、地域やステークホルダーに多大な支援と協力をいただけてきました。私たちは、地域産業の一翼を担う施設として観光面や雇用面、発注面などで地域に貢献し、地域と共に持続的な成長をできるよう努力してきました。このように長く地域と共に歩んできたことに評価を得て、2013年には福井県から県立恐竜博物館のレストラン、翌年には同ミュージアムショップ、2016年には勝山市から温浴施設の運営委託を受け現在に至ります。同一地域に複数の、異なる業態の店舗を展開していることは大きなメリットです。地域観光の動向を多面的に把握できますし、店舗ごとの繁閑や催事に合わせて人材を弾力的に充て、要員体制の補完やスタッフの職域拡大に活かすことができます。また、先シーズンは少雪でスキー場が大きく減収しましたが、他の受託施設や、恐竜博物館への県外旅行者を取り込んだホテル部門がそれを補い、総合的に収益を確保することができました。



岩尾専務)

最後になりますが、当協議会は国民の休日としての「雪の日」の制定運動を始めることとしました。雪は、日本ではまだまだ邪魔者扱いされている地域も多いですが、気候変動の影響を受け、世界的には雪はますます貴重なものとなっているようです。「雪」を通して環境保全の大切さを国民の皆様にご存知いただくことは非常に意義があると考えます。是非、一緒に取り組んでいただきたいと思います。

吉岡支配人)

雪があればこそそのスキー場ですしね。スキーが大好きでこの業界に入った者としても、かけがえのない「雪」資源を守り、スキー・スノーボードが続けられる環境を後世に残したい。この素晴らしい白銀の世界での経験は、地球環境の保全に想いを巡らせることにつながると思います。

岩尾専務)

スキー場をより魅力のある場所にして行くためには、資本と経営を分離し、経営の専門家に運営を任せることも一つの方向と考えています。来シーズンは新幹線効果も出るでしょう。本日はありがとうございました。

